

今後の維持管理運営のため収益性のある施設としての肥後民家村の活用について
連携先：和水町役場

私たちは和水町役場の方と協力し、肥後民家村を収益性のある施設として活用するための取り組みを行っています。主な活動内容は、イベントの実施や施設のリノベーションを行うことです。これにより肥後民家村の集客数を年間で1万人増加させることを目標にしています。今後は、これらの効果をデータ分析し、和水町の活性化を目指します。
 (飯島研究室)



熊本県民総合運動公園の利用者数増加のための施策考案
連携先：(一財)熊本県スポーツ振興事業団事務局

私たちは、一般財団法人熊本県スポーツ振興事業団と連携し、熊本県民総合運動公園の利用者数増加を目的とした活動をしています。現在、総合運動公園では、特に平日の来園者が少ないことが課題となっており、その改善のために、施策のターゲット層の洗い出しや、効果的な施策の考案、その効果の評価を行っています。いきなると考えています。
 (宮園研究室)



起業、スタートアップ支援を通じた地域活性化のための仕組みと拠点づくりについて
連携先：熊本日日新聞社

私たちは熊本日日新聞社と連携して、企業、スタートアップ支援を通じた、地域活性化のための仕組みと拠点づくりについての研究を行っています。具体的には、熊本日日新聞社が運営している「びぶれすイノベーションスタジオ」内にあるコワーキングスペースの認知度を高め、かつ利用者増加を目的とした新たな活用方法の提案を目指しています。
 (飯島研究室)



地域拠点「長嶺地区」における地域の将来像の検討に向けたコミュニティづくりについて
連携先：熊本市役所


私たちは長嶺地区を魅力的にする事を目的に、昨年から県大マルシェを年に3回実施しています。昨年は学生が主体になりトライアンドエラーを繰り返しながら開催し、滞留を促すことができました。今年では地域の方々を巻き込んで行うために会場を西門通りから県大通りに広げ、地域の声を取り込んだ仕掛けや照明計画を行っています。
 (鄭研究室)



バスを活用した現地誘導型の企業訪問の取組みに係る効果検証
連携先：天草市役所

現在、若い世代の進学や就職による市外への人口流出や少子高齢化による人口減少が続いています。持続可能な地域づくりのためには、子どもを地域で産み育てる若い世代のUターンが欠かせないと考えます。本活動ではバスを活用した企業訪問を行い、天草市やその地域産業の若い担い手を確保し地域の活性化に貢献することを目的としています。
 (井寺研究室)





令和5年度 地域連携型学生研究 活動紹介

観光資源の見える化と玉名市型マイクロモビリティツーリズムの開発研究
連携先：(一社)玉名観光協会

私たちは、玉名市独自のマイクロモビリティツーリズムの開発を目指すことを目標に活動しています。玉名市には、玉名人(たまなびと)という言葉があり、それに着目した観光の形をマイクロモビリティツーリズムと絡め、観光客が玉名人との交流を楽しめることを後押しする企画の立案とマップの制作を頑張っています。
 (津曲研究室)



デジタルネットワーク型ローカルコミュニティが天草の若者の地元志向形成に与える影響について
連携先：天草市役所

LINEのオープンチャットを活用したローカルコミュニティを作り、地元志向の形成とUターンの促進を目的とした活動を行っています。天草の現地高校生、地元企業の方々にオープンチャットにて天草に関する情報、企業情報を発信していただき、その情報を見た天草出身の若者が地元への愛着を強化できるようなコミュニティの形成を目指しています。
 (井寺研究室)



起業、スタートアップ支援を通じた地域活性化のための仕組みと拠点づくりについて
連携先：熊本日日新聞

私たちはびぶれすイノベーションスタジオと連携し、起業、スタートアップ支援を通じた地域活性化の拠点づくりを目的に活動を行っています。現在は、地域活性化の拠点づくりの初期段階として、ポスター掲示やSNSでの宣伝活動等での当該施設の利用者増加、そして常用利用のための施策を検討中です。
 (小園研究室)



玉名市マスコット「タマにゃん」を活用した情報発信及び玉名市観光商品の開発研究
連携先：玉名市役所

私たちは玉名市役所と連携して、玉名市マスコットタマにゃんのSNSを通じた玉名市及びタマにゃんの情報発信と認知度向上に加えて、観光商品の開発を行っています。また新しくInstagramの運用を始め、8月には玉名市天水町の視察に行って現地の情報を得ました。得た情報を今後の活動に生かしていきます！
 タマにゃんのInstagram → 
 (津曲研究室)

公共スポーツ施設の有効活用等を含めた利用者増加策についての研究
連携先：熊本県民総合運動公園

本研究では、熊本県スポーツ振興事業団が運営する公共スポーツ施設を、県民が気軽に使える健康増進の場としてより価値を上げることが目的としています。施設利用者増加策として、スポーツに限らず文化や学問・産業なども積極的に連携し、空き施設・スペースの活用や閑散期の施設利用について様々な検討を進めています。
 (小園研究室)



マイクロツーリズムとしての『宇土の小さな旅～uto small trip～』
連携先：宇土市役所

本プロジェクトは、自然によって生み出される“足元にある価値”を子ども目線で再発見することを目的としています。7月に宇土市役所と会議を行い、8月・9月に網田・花園地区をまち歩きし、まち歩きマップを作成しました。今後は校区の小中学生を対象にまち歩きイベントを行い、地域資源の発掘、発掘した地域資源のPR動画を作成する予定です。
 (柴田研究室)



熊本市南区における新たなまちづくりの担い手の発掘及び育成手法の検討
連携先：熊本市南区役所

熊本市南区では、多様な人材育成及び発展に力を入れています。その一環で開催された幸田地区のWSに参加しました。地域の小中学校のPTAの方々が集まるWSでは、実際に住んでいる方々の意見や現状を知ることができました。また西区の城山地区のWSにも参加し、今後は二地区のWSがまちづくりによいような影響を与えるかをまとめる予定です。
 (柴田研究室)



地域における炭素排出量の視覚化と具体的対策の合同検証
連携先：経営塾 ISUI breakthrough

葦水地域における二酸化炭素の排出量と里山による二酸化炭素吸収量を試算し、地域全体で何ができるか検討する目的で活動を行っています。具体的な活動内容は、①地域内の事業者の二酸化炭素排出量の計測、試算②里山による二酸化炭素吸収量、酸素供給量を試算③ワークショップを開催し地域全体で何ができるかの検討を実施します。
 (柴田研究室)



熊本市に於ける国際化・多文化共生社会推進に向けての仕組み作りの考察及び構築
連携先：熊本市国際交流振興事業団

私たちは、熊本市国際交流振興事業団の方と協働し、今後のグローバル社会を担う大学生をターゲットに、継続した国際交流事業への参画を促す仕組みづくりについて考案・検討しています。そのため国際交流イベントを計画・実施し、若者と熊本の企業の国際化・多文化共生社会の推進に寄与することを目的としています。
 (宮園研究室)

